

あたたかい子  
かしこい子  
たくましい子

学校だより

# つよし

—第34号—

令和4年12月12日  
平戸市立津吉小学校  
文責 校長 田川定司

## 「いまここじぶん その合計がじぶんの一生」

この言葉は、相田みつをさんの言葉です。「これまで、自分がしてきたことの積み重ねが、今、ここにいる自分をつくっています。だからこそ、これまで上手くいったことも、いかなかったこともすべてに価値があり、無駄なことなど一つもありません。」という意味です。

いよいよ今年もあと残すところ2週間余りとなりました。この1年間を振り返って、学校や家庭で、上手くいったこと、いかなかったこと、嬉しかったこと、悲しかったことなど様々なことがあったと思います。それらのすべてのことがあったからこそ、今、ここに自分がいるのです。そして、今、ここにいる自分がしていることが、来年の自分をつくっていきます。

## 入賞おめでとう！！

様々な大会等で津吉っ子の活躍がありましたので、お知らせします。

西日本読書感想画	【最優秀賞】吉田和華（1年） 【優秀賞】山本琥雅（1年）・日高 暖（6年）
伝えよう命のつながり「家族の絆」エッセイ ※裏面に入選作品を掲載しているのでご覧ください。	【最優秀賞】江口徠翔（2年） 【優秀賞】徳山榮士（3年）・川原 雅（6年）
平戸市図書館を使った調べる学習コンクール	【入 選】石元彩愛（5年）
九州電力杯争奪少年剣道大会（各学年の部）	【優 勝】松口咲徠（6年） 【準優勝】松口稟聖徠（4年）・松山敦志（3年） 【第3位】松山大志（5年）
九州電力杯争奪少年剣道大会 （小学生団体の部）	【優 勝】中津良剣正会 A （佐々木貴竜・松山大志・松口咲徠）

## 季節は最高の教材

朝の寒さが冬の訪れを感じる季節となりました。先日は、2年生の子供たちが収穫したお芋を焼き芋にして食べたり、また明後日には秋に収穫したお米でおにぎり給食を開催したりする予定です。人は常に自然と共に生き、自然のありがたさを感じながら命をいただいて生きています。生きていく上で季節の変化を感じることは必要なことです。

季節の変化は、貴重な学びの教材です。鳥や虫の鳴き声、旬の食べ物の味、年中行事や行事食など四季を感じるとき、人は五感を大いに働かせ、情感豊かな心＝情操が育成されます。季節感、経験なしでは感じられません。学校生活では多くの季節感を体験できる活動を取り入れています。ぜひ御家庭でも、季節を大いに楽しんでください。「知っている」「やったことがある」という経験や自信は、自己肯定感を育みます。



【2年生の芋ほりの様子】

## ともだち

津吉小学校3年 とくやま えいじ 徳山 榮士



ともだちはいつもやさしくしてくれます。  
話を聞いてくれるし、遊んでくれるので、ぼくはうれしいです。  
もしそんなともだちがいなくて、ひとりぼっちだったら、さみしいし、学校には行きたくないです。でもぼくにはやさしいともだちがいるから楽しいし、まいにち安心できます。  
だからぼくは、近くの人にやさしく声をかけたいです。  
それをつづけてたらともだちのわがどんどんひろがると思います。  
だからまずは、まわりにいるともだちをとっても大切にしたいです。



## 感謝

津吉小学校2年 えぐち らいが 江口 徠翔

天国のお母さんへ  
いつも、いろんなところにつれていってくれて  
ありがとう  
じこでなくなったけど大人になってお母さん  
みたいになるよ。  
そしていっぱいながいきするね。  
ゆめでもいいからお母さんに会いたいです。  
それでもだめならげんじつで会いたいです。



## 新しい命

津吉小学校6年 かわはら みやび 川原 雅



私の家に新しい家族ができました。  
その子の名前はモカ。さわるとふわふわしていてとても気持ちいいです。  
モカは、可愛い子うさぎです。その子は茶色で尻尾は丸くて白いです。  
2週間前にお家に来ました。そのうさぎは朝方と夕方に活発になり、よくえさを食べます。おなかが空くと容器を口でくわえてふり回したのでうさぎが動かせないくらいの重さの容器に変えました。  
それでも顔を洗うしぐさや、ねている時の様子はとても可愛く思えて、なでたくなります。  
私の家に来た新しい命は、私の気持ちを優しくしてくれます。  
私もモカにはもちろん、いろいろな命を大切にしていこうと思います。